



しかはま自然観察会

のらえもん

2022 年度

No. 2

2022. 05, 08

『 人も 自然も みんな友だち 』

第2回活動 田植え体験とイチゴ狩り・坂野家住宅見学

青空の見える中、三年ぶりの田植えをしました。
生暖かいによろよろの泥の感触がよみがえって
きました。

イチゴ狩りでは、赤く甘い大きなイチゴをたくさ
ん食べました。

江戸時代の住宅・坂野家は、歴史を十分に感じさ
せてくれました。

1, 日 時：2022年5月8日（日）全日

2, 場 所：宅間農園（常総市大生郷新田1558）

3, 天 気：晴れ 気 温：25℃

水 温：24℃

土の中：19℃

4, 交 通：バス・自家用車で移動

5, 参加者：バス参加者：41 自家用車参加者：17

総数：58 内訳：大 人 27

大学生 1

中学生 2

小学生 17

幼 児 4

スタッフ 6

6, 活動内容：

① 3年振りの田植え

水面が乱反射する長方形の田んぼ。始めは恐る恐る入る田んぼの中も、入ってみればヌルヌルとした泥の感触の心地よさに、3年ぶりの田植えに夢中になってしまった。

転んで泥だらけになった子は、一番ステキなお土産をつくった。畦を手で修復する仲良しの3人の男の子。水面をスイスイと移動するクモやあわてて田んぼに逃げ込もうとするアマガエル。カラスアゲハを捕まえた女の子。

田植えが終われば、持参したペットボトルの水で手足を洗う光景は、家族の絆を深めているようだった。

田んぼの場所が、変わった。以前の三角形の田んぼは、水に家畜の尿尿が含まれていることが分かった。衛生を配慮してくれた宅間さんは、自宅近くの長方形の田んぼを用意してくれた。この田んぼは、約2反あるという。その、ほんの一部での田植え体験だった。

弱々しい苗を3～5本ずつ植えた稲は、4カ月後の稲刈りまでに、どのように生長しているのだろうか・

みんなで活動する9月の稲刈りが、待ち遠しい！

② イチゴ狩り

田植えの後は、みんなが期待するイチゴ狩りだ。

4列の高い畝に、元気いっぱいなイチゴ（やよいひめ）が赤く大きな実をたくさんつけている！中には、まだ白いものや病気のものもありました。白い花もありました。

私は5個も食べるとお腹いっぱいになりましたが、子どもたちは食欲旺盛です！何個ぐらい食べたのでしょうか？

イチゴは、まだまだ実り出荷できるのです。が、宅間さんは田植えの準備が忙しく、イチゴをかまっていられないそうです。そこで、のらえもんを楽しんでもらっているということです。

イチゴを実らせるために、太陽の熱を逃がさないようにビニールハウスにしてあります。花が咲くとめしべに花粉をつけてもらうために、ハウス内にハチを放しています。

赤いイチゴを実らせている一番の功労者は、太陽とハチのようですね。

③ カイコの紙芝居

大生郷天満宮の広場で昼食です。藤棚の日影があり、近くにはスイレンの咲く池もあります。青空の下、この芝生で休憩していると、田植えの心地よさを思い出しながら新緑の美しさに気持ちが安らいできます。

昼食の後は、いつものカイコの紙芝居です。内畠初香さんが読んでくれました。

カイコの孵化から幼虫になり、やがてマユを作り卵を産むまでの流れを理解していただき、この後配布するカイコの卵の飼育に役立てて欲しいという願いがあります。

保育園では、園児たちがその成長にとっても興味・関心を持つと聞いています。

みんなで飼育し、観察・意見交換ができるからいいのでしょうかね。ただ、先生方は桑の葉の入手にとっても苦労するようです。5令幼虫にもなると、エサの桑の葉を朝・昼・晩と与えなくてははいけませんから、すぐに無くなってしまうからです。

④ 坂野家住宅見学

江戸時代中期（18世紀）の豪農の住宅の様子を、今に伝える貴重な住宅といわれている。

屋根はすべて茅葺きで、煮炊きをする竈（かまど）・馬屋・風呂などが土間部にある。暖をとる囲炉裏の他に、座敷部は3間からなり欄干の透かし彫り・床・棚などをそなえて客間として、幕府の役人を迎えたという。さらに、「月波楼」と名付けられた書院があり、多くの書家や画家たちが訪れ、優れた創作活動の場になったという。

昭和8年（1933年）の記録によると、7人の使用人をかかえ、米1300俵・小麦600俵の収穫があったという。

江戸・明治・大正・昭和と生き続け、平成10年までおばあさまがくらし、その後建物・屋敷地を市に寄贈された。

歴史を感じさせてくれる、見応えのある建造物でした。

7. ふりかえりの感想

- 今日の田植えは、自分の中で初体験だったと思いました。

私は田植えをしたことがなく、小さい頃に比べて土と関わることも少なくなり、土などが気持ち悪いなど感じるようになりました。

ですが、今日の体験で自然とふれあうことの大切さがなんとなくわかった気がしました。

のらえもん 自然とふれあう 大切さ

北区王子小3年

- たんぼでは、ザリガニやカエルやおたまじゃくしがいた！

いちごかりでは、最初（服に）いちごをためていたら、服が赤くなっていやだったけど、また行きたい。いちごも、おいしかった！

昔のおうちは、とても広かった。住んでみたいと思った！

たんぼでは いきものたちが たくさんだ

いちごかり おいしいいちご いっぱいだ

のらえもん いってみたら たのしいよ

のらえもん またいきたいな こんどまた

北区王子小5年

- 田植えでは、いままでにかんじたことがないかんかくで、とてもふしぎだった。

いちごかりでは、おいしいいちごが食べられてたのしかった。

キャンプも、いきたい。

いちごかり いちごがとても あまかった

北区王子小5年

- 田植えの下のどろがどろどろで、すごかった。

いちごかりでは、赤いいちごがおいしかった。

昔の家では、ふるくてこんな時代があったんだと、おもしろかった。

いちごかり おしべとめしべを 学んだよ

北区王子小5年

- 田植えがひさしぶりで、楽しかった。

おし花もたのしみ。

あと、古い家も見られて、良かった。

いちご、おいしかった。

また、来たい。

たうえでね ドロパックして ドロドロよ

北区王子小5年

- 最初の田植えは、どろんこになって植えられて、とても楽しかった。
その後のいちごかりでは、とても暑かった。
クイズも楽しかったし、何よりいちごがおいしかった！
またやりたいなあと思った。
いちごかり おいしかったけど 暑かった

北区王子小5年

- いちごかりがたのしかったです。
あつかったです。
田植えより (畦の) 修ふく作業が 楽しいわ

江北小4年

- まだまだ植えたかったです！
泥の中 秋の実りを 想像し

母

- 田うえより、田のしゅうふくのほうがたのしかった。
さかのけでは、しゃしんをとりまくった。

江北小4年

- 田んぼに入る時は少しためらってしまいましたが、田植えが始まると、楽しく夢
中になってしまいました。

天気も気持ちよく、良い一日でした。

にゆるにゆると 何かが素足に 動いてる

田植えする 秋の実りを 期待して

母

- 坂野家の二階から見えるけ色が、きれいだった。
坂野家の 外のけしきが きれいだった

江北小4年

初めての田植え体験でしたが、土の感触がきもちよかったです。

田んぼ一面の田植えは、作業は本当に大変だなと思いました。

お米ひとつぶひとつぶを大切に食べないとなど思います。

米作り 重労働だ 米大切に

母

- 田んぼに、そんなに田んぼにしたしむ時がないので、楽しかったです。

北区滝野川 第三小3年

- 久しぶりに、田んぼでいねを植えられてよかった。
カラスアゲハをつかまえられて、よかった。

北区滝野川 第三小6年

- はじめてたうえして、暑いけど、田んぼの中に入ると、どろですぐすずしくなり、
どろもはじめは入りたくなかったけれど、入ってみるときもちよかったです。

いちごかりでは、なかなかおいしいいちごが見つかりませんでした。

オニヤンマのし体を見つけたけど、今度は生きているのをつかまえたいです。

鹿浜第一小4年

- ぬるぬる どぼどぼ していた。
気持もちわるかった。(田んぼ)
いちごは おいしかった。
たくさんたべた。

皿沼小2年

- 田んぼはぐちゃぐちゃしてきもちわるかったが、いがいと、
はいたら、たのしかった。
またきたら はいりたいな 田んぼにな

加賀中1年

- 古い家に行ったとき、かなり古いのに、広くていろいろな物がのこっていたので、
びっくりしました。
田植えでは、最初は少し入りたくなかったけれど、すぐになれることができました。
古い家 楽しかったよ 田植えもね

北区王子第一小5年

- たんぼでころんで、どろだらけになったけど、そのあといろんなとこにいけて、
たのしかった。
たうえでは むしがたくさん こわかった

鹿浜菜の花中2年

- 貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
田んぼの泥の感触が気持ちよく、あの感覚を園の子どもたちにも経験してほしい
と感じました。
今度は、実りの稲刈りも楽しみです。
あたたかな みずをかんじる たうえかな

元宿こども園

- 久しぶりに土と触れ、ぬるっとする感触が快ち良かったです。
ありがとうございました。
田植えして 足に感じる 快ち良さ

中島根保育園

- 久しぶりの田植えに、感動です。
参加している子どもたちの表情が、自然に触れることで生き生きと変化していく
のを客観的に見て、自然の大切さを改めて感じられました。
ありがとうございました。
300年 大地も家も その先へ

障がい福祉センターあしすと

- 貴重な体験をさせていただきました。自分としても楽しく童心に返った気持ちになり、又、保護者としても子どもたちに同じ気持ちを感じてもらったり、日本の大切な伝統や自然について知らせていきたいと感じました。

計画していただいた事に、感謝です。

田のカエル 尻餅つく子に 良き笑い

逃げカエル 追う子どもたち なつかしむ

沈む足 田んぼの深さ 胸はずむ

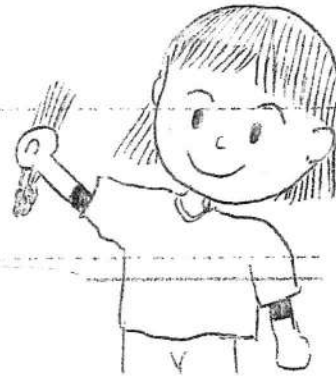
鹿浜こども園

- 稲植え体験は小学生以来のことだったので、経験ができて本当に楽しかったです。泥の感触や稲植えの方法など、実際に触れられたことは、貴重な1日でした。また、苺狩りや坂野家見学なども、日常では経験できないようなことができ、素晴らしい1日となりました。蚕の卵を頂いたので、こども園のこどもたちと一緒に育てながら、成長を楽しみたいと思います。ありがとうございました。

稲を手に

みんな泥んこ

五月 晴れ ☀



鹿浜こども園

- 初めて参加させていただきました。活動の楽しさは職場の参加者より聞いていたので、今回はとても楽しみに来ました。予想通りとても楽しく、童心にかえることができました。田植えの泥の感触・蛙の鳴き声・苺狩り・建築物（歴史）見学など、素敵な体験をありがとうございました。稲・かいことの触れあいを、子どもたちとめいっぱいワクワクドキドキしながら体験していきます。

泥まみれ 稲刈り楽しみ 田植えかな

赤さより 大きさ重視の 苺狩り

鹿浜こども園

- はじめての田植えは楽しかったです。泥はやわらかくて気持ちよかったです。かえるをつかまえたのに、にげられてくやしかったです。はじめての 田んぼどろどろ 気持ちいいな

新田小3年

- 初めて、のらえもんの活動に参加しました。
心地よい気候の中、泥の感触を楽しみながらの田植えは最高でした！！
自然と触れ合うことはやはり大切なことだと、改めて感じた瞬間でした。
坂野家の住宅・庭も美しく、心いやされました。
坂野家より 見渡す緑 心癒す

鹿浜こども園

- おともだちと たくさんあそべて たのしかった。
どろのなかで ころんじゃったけど たのしかった。

伊興保育園ぶどう組

- 田植えは、小学生ぶりだったので、ほぼ初体験でした。
泥の感覚が何とも言えず、良い体験ができました。
稲刈りが楽しみです。

いちにちで

もりだくさんほ

のらえもん



鹿浜こども園

- 今日は、いちごがりがたのしかったです。
とてもたのしかったです。

梅島小2年

- 10年ぶりの田植えが、とても楽しかったです。
虫が苦手な息子も、友だちと一緒に参加できたおかげで、カエルやタニシ・クモ
など、近くで見たり触れたりできていました。
むかるみも 友とはいれば 怖くない

鹿浜こども園

- 貴重な体験、ありがとうございました。
- 水田に自分の影が動くとき手に持つ苗もいっしょに動く
一列に並んで田植えするときはお尻の方へ抜き足差し足
田植えする大地の泥の水たまり稲は3本願いを込めて
イチゴ狩り赤く大きいもの見つけ口にほおぼるほっぺがゆるむ
太陽と蜂の力を借り受けて赤く大きいいちごはみのる
茅葺きの厚き屋根には坂野家の豪農の誇りにじみ出ており
鍋かけて四つの竈（かまど）並びおり人のくらしを支えた証

古高 利男